

平成9年12月(1997年) No. 384

補助椅子まで出す盛況で無事終了

— 第37回OMC映像フェスティバル —

11月30日(日曜日)午後に行われた恒例のOMC映像フェスティバル'97は、阿倍野市民学習センターで行われましたが、開会の13時30分には150名定員の会場がほぼ満員で、その後に入場される方のために急遽補助椅子を並べて対処するといううれしい悲鳴を上げました。予想以上の観客をみて、OMC映像フェスティバルに期待して来て下さる方が大勢いらっしゃることに感激するとともに、これからもより良い作品を目指さなければ、と身を引き締める思いです。

今年の作品は13本(うち3本は友好クラブ映像集団「地下街」からの出品)でしたが、いずれも水準以上で良い作品が集まったと自負しております。祭りをテーマとする作品が6本もあり、やや内容のバランスが祭りに片寄りすぎたかなあという感じもしますが、それぞれに個性がありバラエティにも富んでいたもので、観客の皆さんに満足していただけたものと考えます。来年あたりはぐっと掘り下げたヒューマンドキュメンタリーの1本も期待したいところですが、こればかりは相手があることで難しい希望ではあります。

運営にあたっては、プログラムのデザインや当日は重いプロジェクター持参で上映を引き受けていただいた関剛世話役をはじめ、各世話役、並びに一般会員の絶大なるご協力をいただき、フェスティバルを成功させました。有り難うございました。
会長 合原 一夫

12月例会のお知らせ

12月例会は20日(第3土曜日)午後6時より、阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)で開催します。年末ですので、何時もの第4土曜日を1週間繰り上げての開催です。お間違いのないようお願いします。是非例会に出席して作品をご披露ください。

1 1 月例会のレポート

今月は総勢17名の賑やかな、そして和気藹々とした中での例会でした。新しく野村さんが入会されました。どうかよろしく申し上げます。司会は合原さん、書記有村さん、デッキ係は江村さんをお願いして会を進行しました。

◆出席者：合原、有村、前田、関、上総、奥、森、今井、江村、松本、増池、渡辺、野村、越本、那須、田中、安居の皆さん17名。（敬称略）

◆上映作品

- 1) 堺まつり パレード 森 保信さん 6分07秒
腕章をつけて、ソニーのVX9000を持って、良い場所から撮影されています。頼まれ物ならこれで仕方ない所ですが、編集でアップ、ロングを的確にカットし、後から音を処理して作品にして見せてほしかったと思います。
- 2) 御堂筋パレード 江村 一郎さん 7分
日曜日の朝の静かな御堂筋から始まり、昼のパレードも作者らしくいかにも象徴的なカットを重ね、今年から始まった夜の見事な描写で締め括っておられます。行列の撮影はどうしても記録に終わってしまうのが常ですが、この作品を拝見しますと、撮影の段階から如何に作品にするかを考えておられるので、勉強になりました。
- 3) 平野ウォッチング 前田 茂夫さん 10分20秒
10人位の人たちを従えて、平野のボランティアの人が町の案内人になって次々に道標、地藏、環壕、寺社などを紹介して行くのに同行して取材されました。説明を一言残らず記録されようとしたばかりに撮影が今一つになったみたいです。これは音だけを生かして、再度撮り直しをされたカットをインサートしてほしいように思いました。
- 4) 秋のスケッチ 今井 羨美さん 4分30秒
お仲間と一緒に般若寺に行かれて花（コスモス）と石仏を撮ってこられました。内容がタイトルのイメージと少々違う、お仲間が出るカットが一つですから、これならいっそ無い方がよいのでは、と司会者からのアドバイスでした。
- 5) 浄瑠璃寺 安居 利次さん 7分
当尾の里には沢山の野仏に岩船寺、それにこのお寺があります。無人の果物、野菜販売所も有名です。そのすべてを紹介されて、このタイトルですから構成に少々無理があったようです。仏像の写真を図書館で調べて挿入されたり努力されていますので、今一度、浄瑠璃寺だけを三脚でがっちり撮って、構成のやり直しをされると、立派な作品になるように思いました。
- 6) 亡き母の追憶の日 合原 一夫さん 9分34秒
フィルム時代にお撮りになった思い出を含めて、お母さんの法要の日を表現されています。ご家族、ご親族の皆さんにとっては貴重な映像のように思いますが、合原さんご夫妻を知らない第三者にとっては、全く理解できないでしょうし、後でアップでお出になる方々と作者の関係は私達にも解りません。ご家庭の記録として見せてもらいました。

7) 明石の海 有村 博さん 10分

他クラブの撮影会に参加して1日で撮ったものです。来年開通する明石海峡大橋を紹介し、漁師が獲物を明石港にある市場に売りにきて、セリが始まります。ここまでやるなら漁をしている所もほしいし、新鮮な獲物のカットの部分が多すぎて、全体が長い。再編集すべき、というのが皆さんのご意見のようでした。

8) 住吉まつり 野村 清美さん 3分

今月から新入会されて名刺がわりに持参されました。住吉大社の御田植神事を撮っておられます。俗にいう住吉まつりは8月初めの夏祭りのように思いますので、タイトルを変更され、ついでに作者の名前とおわりもよろしく、と司会者からも助言がありました。

9) 秋の美 那須 典彦さん 7分30秒

作者は日本各地、世界をよく旅行されて美しい映像で作品を見せてくれます。そんな中から、今回は日本各地の秋の美しい景色を抜粋して作品にされました。もう少しアップのカットがあればよかったし、コンクール用の案山子は印象が強烈ですので、無い方がよかったように思いました。

以上で会員さんの作品上映を終り、2次会は喫茶店と居酒屋に別れて楽しみました。

(今月の講評担当・有村 博)

■新入会員の紹介

・野村清美さん 〒589-0005 大阪狭山市狭山2-1053-10 TEL 0723-65-2713

■映像フェスティバルで祝電を戴いた方、グループのご紹介

・ご盛會を祝しますますのご発展を祈ります。 東京アマチュア映像連盟会長
川上勝悟様

・祝 第37回OMC映像フェスティバル、おめでとうございませう。盛會をお祝い申し上げます。 中部映像作家集団会長 加藤芳穂様

・第37回OMC映像フェスティバル'97のご盛會を祝し、素晴らしい作品群に心より喝采をおくります。 ぐるーぷこん 浜田かおる様

・映像フェスティバル'97の単独開催おめでとうございませう。37回の長きにわたり、映像を追求し続けられる皆様に深く敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

1997年11月30日神戸映像会員一同様 (大野要範会長)

・OMC映像フェスティバルの映写會を祝し、ますますのご発展を祈ります。
神戸 本田裕信様

・映像フェスティバル開催おめでとうございませう。クラブ撮影會のため、見ることが出来ず残念です。
北大阪ビデオサロン 西山正博様

■ご祝儀を頂戴した方のご芳名：松村長二郎様、荒木輝夫様、萩巢 勲様以上

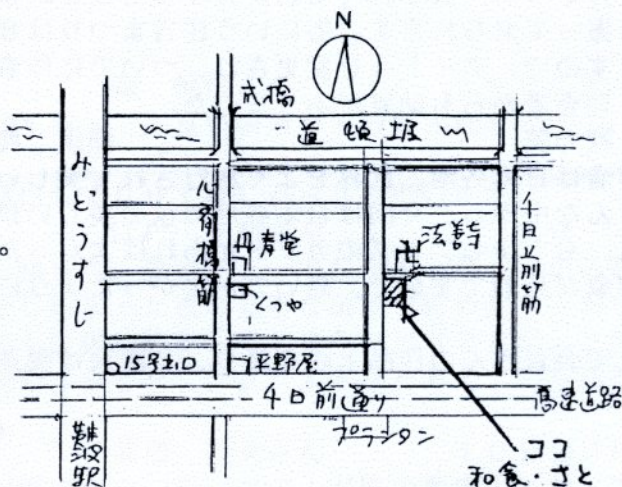
新年会のお知らせ

毎年恒例の新年会を下記の通り開催します。会員相互の親睦のための年一度の催しです。万障繰合わせのうえご出席下さるようお願いいたします。

1. 日時 平成10年1月18日(日曜日) PM6.00～
2. 場所 さと法善寺店(中央区難波1-2-10 TEL 211-6481)
3. 会費 6,000円
4. 申し込み

同封の返信用ハガキで1月10日までに会長宛ご出欠を返事下さい。

5. (注)取消しの場合は早めに連絡してください。遅くとも前日までをお願いします。当日無断欠席の場合は、会費全額を申し受けます。お忘れなきよう、手帳等に予定を書き留めておいて下さい。
では新年会でお会いしましょう。



■日本アマチュア映像作家連盟第2回「日本を横断する映像発表会」開催のお知らせ

日時 平成10年1月17日(土曜日)12時30開場、13時開会～18時半頃まで
場所 OMC例会場と同じ、阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)

プログラム概要

全体を3部に分け、1部と3部がフィルム作品をビデオに変換したものの上映、2部はビデオ作品。今回はフィルム作品特集ということで、フィルム時代の力作を揃えてあり、往年の名作とうたわれた浜田かおる氏の「遊園地の詩」や富士の冬山などを新田次郎の作品に的をしぼりながら描いた名作「新田次郎に生きる富士山」山岳映画サロン伊藤弥八氏作品、奈良出身の女流作家の第一人者、田淵千枝子さんの「古都炎ゆ」、東京アマチュア映像連盟会長川上勝悟氏の「海の舞」などが上映されます。ビデオ作品では児島範昭氏のデジタル編集と音処理の自信作「北の夢紀行」、一時関西にもご在住だった上野進氏の「45年目の広島」高松市のベテラン今田守氏の愛犬を亡くした哀しみをホームビデオ的に描いた「ジュンちゃん物語」など、注目すべき作品が揃っています。いずれプログラム発送がありますが是非お越し下さい。(合原記)